

大川栄策 カラオケ教室



「駅」編

この歌は歌いだしからいきなりこの歌のクライマックスからスタートします。音域の一番高い音からスタートしますので、この歌の持つ曲想と背景をイメージで膨らませて、プレス（息つき）を深めにして歌いだします。

誰にも理解されない男のやり場の無い深い悲しみを北国の大原野に向けて叫ぶような気持ちで歌い出します。そうする事によってこの歌の持つスケール感が出ます。しかし粗野に成らない様に明るい声で。

二行目は男を見送る女の姿の描写ですが男の視線でその女に情愛を持って優しく包み込むような柔らかい声で。

三行目は汽車の車輪の動きに合わせてリズム感を大事にテンポに乗ってそのテンポを崩さないようにします。

そうする事によって次のプラットフォームのフレーズが生きてきます。

プラットフォームは御自分の声とその思いを十二分に迫力を持って出します。本当のクライマックスです。

そして‘ 汽車が来る ’ は2回繰り返しますが最初は男が言い次は女がそれに答えると言う風にバリエーションを付けて歌うとより盛り上がるかと思えます。

そして最後の雪国の駅は朗々と歌い上げるという感じで歌って頂ければと思います。